

開催場所: さいたまスーパーアリーナ Mコート

試合区分: No. 105 男 男子準決勝 コミッショナー: 高城 邦弘

期 日: 2019(H31)年1月12日(土) クルーチーフ: 漆間 大吾

開始時間: 15:33 終了時間: 17:18 アンバイヤー: 堀内 純、阿部 聖

栃木ブレックス

71

21 -1st- 14
13 -2nd- 15
18 -3rd- 19
19 -4th- 14
-OT1-
-OT2-
-OT3-

62 京都ハンナリーズ

栃木ブレックス

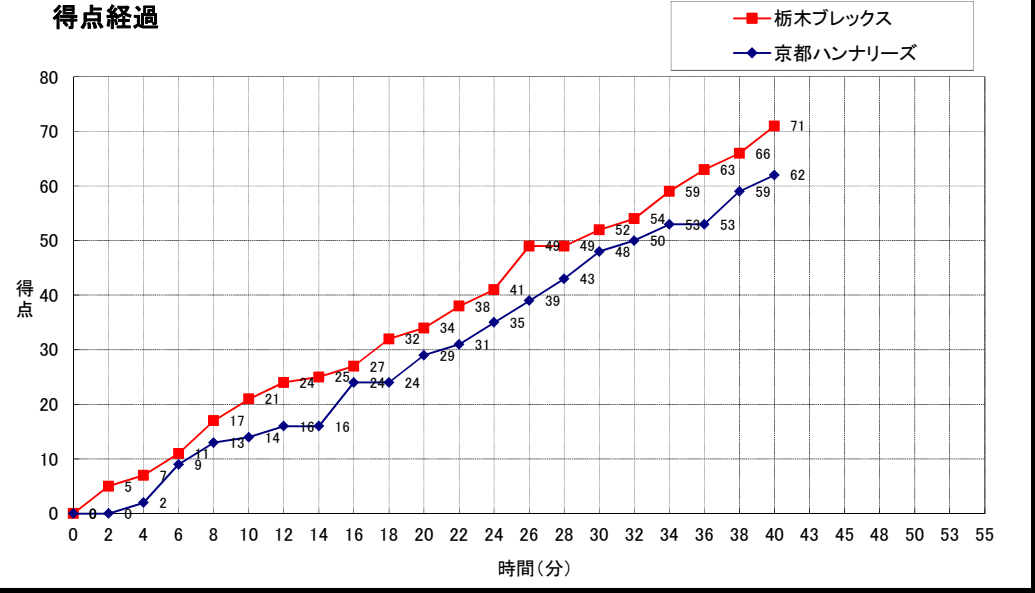
No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
0		田臥 勇太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
4*		ジェフ・ギブス	7	1	2	2	11	0	0	4	8	8	16	3	4	2	0	29:55
9*		遠藤 祐亮	18	2	5	6	9	0	0	4	0	4	4	4	2	2	0	26:14
10		竹内 公輔	4	0	0	2	6	0	0	3	3	2	5	0	1	0	0	20:06
11		田原 隆徳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1:09
13*		渡邊 裕規	10	2	8	2	2	0	0	2	1	1	2	0	3	0	0	30:14
18*		船 誠司	10	2	4	2	8	0	0	1	1	1	2	2	2	3	0	31:24
21		橋本 晃佑	2	0	3	0	1	2	4	1	0	1	1	0	0	0	1	7:38
22*		ライアン・ロシター	15	0	1	6	11	3	5	2	6	6	12	0	9	1	0	29:59
24		栗原 貴宏	5	1	4	1	3	0	0	1	0	3	3	0	1	0	0	23:21
25		エリック・ロバーツ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
30		山崎 稜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
HC		安齋 章三 / TEAM	0	0	0	0	0			0	1	4	5	1				
合計			71	8	28	21	51	5	9	18	20	30	50	10	22	8	1	200:00

京都ハンナリーズ

No.	S	選手名	PTS	3P FG		2P FG		FT		PF	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT					
3*		伊藤 達哉	8	0	0	2	9	4	4	0	0	3	3	3	6	2	0	32:51
7*		晴山 ケビン	7	1	3	2	3	0	0	2	0	3	3	2	1	1	0	21:35
9		綿貫 瞬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12*		岡田 優介	3	0	2	0	0	3	3	2	0	1	1	0	0	0	0	21:06
13		近 忍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15		玉木 祥護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
20		岸田 篤生	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
23*		シャキール・モリス	14	1	1	4	10	3	6	5	3	12	15	4	2	0	2	38:10
33		内海 慎吾	3	1	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	19:57
45		頼宮 裕人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
50*		デイヴィッド・サイモン	19	2	4	5	14	3	4	2	2	7	9	3	5	0	2	40:00
91		片岡 大晴	8	1	3	2	3	1	1	1	0	2	2	1	0	0	0	26:21
HC		浜口 炎 / TEAM	0	0	0	0	0			0	0	2	2	1				
合計			62	6	15	15	39	14	18	16	5	30	35	14	14	3	4	200:00

PTS: ポイント
M: 成功数
A: 試投数
%: シュート率
FG: フィールドゴール
3P: 3ポイントシュート
2P: 2ポイントシュート
FT: フリースロー
F: ファウル
OR: オフェンスリバウンド
DR: ディフェンスリバウンド
TOT: トータルリバウンド
TO: ターンオーバー
AS: アシスト
ST: スティール
BS: ブロックショット
MIN: 出場時間
S: スターター
OT: 延長

得点経過



ゲームレポート

【総評】

初のベスト4進出を果たした京都ハンナリーズと初優勝を目指す栃木ブレックスによる準決勝は、リバウンドを制してチャンスを作る栃木がリードしていく。しかし、シュートの精度を欠き、栃木は思うように点差を引き離せず。前半は34-29で折り返す。後半も栃木が先手を取り、10点差まで引き離す。しかし、点差を離されても京都は強気なプレーで何度も追いつき、拮抗した展開が続く。最後はリバウンドで上回った栃木が71-62で逃げ切り、3年ぶりの決勝進出を決めた。

【第1クォーター】

栃木#9遠藤祐亮の3ポイントシュートから始まり、さらにコンビネーションプレーで栃木が得点を重ねて行く。開始4分、栃木が9-2とリードすると、京都は早くもタイムアウトを要求。その後、京都#50デイヴィッド・サイモンの3ポイントシュートを皮切りに、連続得点で11-9と2点差に迫る。栃木は#13渡邊裕規が3ポイントシュートで30-24とする。さらに栃木はフルコートディフェンスで簡単に京都の得点を許さない。2桁点差をつけられてもおかしくない場面から、京都は#91片岡大晴が第1クォーター終了。

【第2クォーター】

#4ジェフ・ギブスが3ポイントシュートを決め、栃木が10点差をつける。リバウンドで上回る栃木が攻撃チャンスを作るが、フィニッシュの精度を欠き、その間に京都は3ポイントシュートを決めて27-24と3点差まで追いつける。残り4分24秒、栃木が先に二つ目のタイムアウトを取って立て直し、#9遠藤の3ポイントシュートで30-24とする。さらに栃木はフルコートディフェンスで簡単に京都の得点を許さない。2桁点差をつけられてもおかしくない場面から、京都は#91片岡大晴が強気なプレーで連続得点を挙げ、34-29と5点差まで詰めて前半終了。

【第3クォーター】

京都は最初のオフェンスを得点につなげられず、逆に栃木が先制する。#18船誠司が3ポイントシュートを決め、41-31と10点差をつける。ゾーンディフェンスで対抗する京都は、#23シャキール・モリスが#44ギブスのシュートをブロックで阻止し、その後、ゴール下まで走って得点を挙げ、49-41と一桁点差に戻し、栃木の流れを切る。京都は連続得点を挙げ、さらに#33内海慎吾の3ポイントシュートで50-48と2点差まで追いつける。しかし、ラストプレーを決めた栃木が52-48と4点リードし、最終クォーターへ。

【第4クォーター】

京都#23モリスのフリースローで52-50とし、1ゴール差からスタート。しかし、その後訪れた同点のチャンスにシュートは外れ、逆に栃木は#10竹内公輔の得点で4点差を広げる。栃木は何度もオフェンスリバウンドを拾い、そのチャンスを生かしてリードを守る。残り5分、お互いに激しいディフェンスで拮抗する展開の中、スティールから#9遠藤が速攻を決め、61-53と引き離す。諦めずにゴールを狙う京都は、2本の3点プレーで4点差まで追いつける。しかし、代わって入った#24栗原貴宏が3ポイントシュートを沈め、66-59と再度京都を引き離す。結局、71-62で栃木が逃げ切り、初優勝まであと1勝に迫った。